

リアルタイム現地情報

令和3年度 JAほこた苺部会、JA茨城旭村いちご部会が販売対策会議を開催しました

10月28日にJAほこた本店において苺部会、10月29日にJA茨城旭村いちご部会の販売対策会議が開催され、普及センターからは、花芽検鏡の結果や定植後の状況について説明しました。今年の育苗期は、9月上旬に低温・低日照となり、花芽分化が昨年より10日程度早まりましたが、9月下旬から10月上旬にやや高温・多日照となったことで、一次腋花房の分化は昨年より2日程度遅くなりました。こうした生育状況により出荷量は12月下旬から多くなる見込みです。

市場担当者からは、かき、リンゴ、みかん等の取扱量が今年は全体的に少ないことからイチゴは、例年通りの品質を保てば高単価を狙えるとの情報提供がありました。また、JAほこたでは、栃木県でイチゴの出荷規格が変更されたことにあわせて、規格の変更について検討しました。

普及センターでは管内の主力品目であるイチゴの高品質、多収生産に向けて引き続き生育状況や気象に関するデータ等の情報を提供していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）